



災害時への備え 常に「もしも」と考えて

余市町では、原子力災害が発生した場合に備え、関係機関との連携を強化する取組を進めています。また、泊発電所での重大な事故を想定し、道と泊原発周辺13町村及び避難先市町村などが参加する北海道原子力防災訓練を実施しています。



災害対策本部運営訓練



通信連絡訓練



避難退域時検査訓練



住民避難訓練



要配慮者避難訓練



放射線防護対策施設運営訓練

放射線防護対策施設について

余市豊浜学園において、平成28年度に原子力災害時における防護対策事業が実施されました。これにより、原子力災害時に孤立するおそれのある施設入所者の安全が確保されるとともに、近隣地区（豊浜・白岩・潮見）の住民の屋内退避施設としても活用することが可能となりました。

備蓄

災害直後から数日間、自足するためのものです。最低でも3日分を用意しましょう。

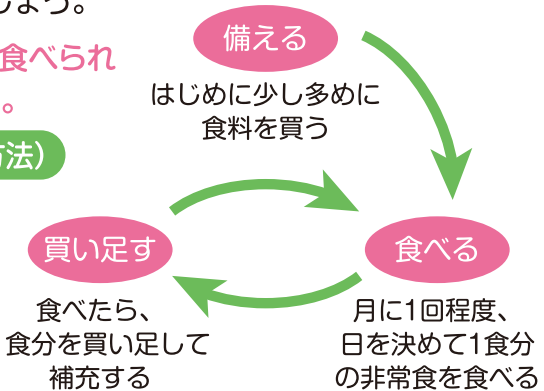
いざ!というとき消費期限が過ぎていて食べられないということがないようにしましょう。

ローリングストック法(新しい備蓄方法)

はじめに少し多めに食料を買っておき、食べた分を買いつけ備蓄する方法。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品なども非常食として扱えます。

飲料水は、1人1日=3ℓが目安です。家族の人数分を備えておきましょう。

※普段から購入している食品(レトルトやフリーズドライ、缶詰など)、飲料水、ウェットタオル、カセットボンベ、乾電池、使い捨てカイロなどは、常に一定量、常備していると突然の災害にも対応しやすいです。



わが家の防災メモ

●わが家の避難手段 (自家用車、バス、○○さんの車など)

バスを利用する場合、集合場所は ()

●家族の連絡先

●その他 (親戚の連絡先など、わが家にとって必要な情報)

災害用伝言サービス(災害時の安否確認)

災害用伝言ダイヤル「171」は、災害発生時に電話が繋がりにくい場合でも、電話番号別にメッセージの録音や再生ができるサービスです。

伝言の録音方法

1 7 1 をダイヤル

▼ガイダンスが流れます。

録音の場合 1

▼ガイダンスが流れます。

被災地の方の電話番号(市外局番から)

伝言の再生方法

1 7 1 をダイヤル

▼ガイダンスが流れます。

再生の場合 2

▼ガイダンスが流れます。

被災地の方の電話番号(市外局番から)

※災害用伝言板(web171)では、携帯電話やパソコンなどからインターネットを利用して電話番号別に安否情報(伝言)の登録や確認を行うことができます。

必要に応じてこのように切り取り利用ください。

